六 信託業法（大正十一年法律第六十五号）

改正案	現行
<p>第五条 信託会社ハ左ニ掲クル業務ニ限り之ヲ併セ営ムコトヲ得</p> <p>一 (略)</p> <p>一ノ二 社債等ノ振替ニ関スル法律第二條第四項ノ口座管理機關トシテ行フ振替業</p> <p>二ノ七 (略)</p> <p>(略)</p> <p>第七条 信託会社ハ信託義務ノ違反ニ因リテ受益者ニ生スルコトアルヘキ損害ノ担保トシテ内閣府令ノ定ムル所ニ依リ資本金ノ十分ノ一以上ノ金額ニ相当スル国債（其ノ權利ノ帰屬ガ社債等ノ振替ニ関スル法律ノ規定ニ依ル振替口座簿ノ記載又ハ記録ニ依リ定マルモノトサレルモノヲ含ム次条ニ於テ同ジ）ヲ供託スヘシ但シ其ノ金額八千万円ヲ超ユルコトヲ要セス</p> <p>第九条 信託会社ハ内閣府令ノ定ムル所ニ依リ運用方法ノ特定セサル金錢信託ニ限り元本ニ損失ヲ来シタル場合又ハ予メ一定シタル額ノ利益ヲ得サリシ場合ニ於テ之ヲ補填シ又ハ補足スル契約ヲ為スコトヲ得但シ信託財産トシテ所有スル社債等ノ振替ニ関スル法律第百二十九條第一項ニ規定スル振替社債等ニ付テ当該振替社債等ニ係ル当</p>	<p>第五条 信託会社ハ左ニ掲クル業務ニ限り之ヲ併セ営ムコトヲ得</p> <p>一 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>二ノ七 (略)</p> <p>(略)</p> <p>第七条 信託会社ハ信託義務ノ違反ニ因リテ受益者ニ生スルコトアルヘキ損害ノ担保トシテ内閣府令ノ定ムル所ニ依リ資本金ノ十分ノ一以上ノ金額ニ相当スル国債ヲ供託スヘシ但シ其ノ金額八千万円ヲ超ユルコトヲ要セス</p> <p>第九条 信託会社ハ内閣府令ノ定ムル所ニ依リ運用方法ノ特定セサル金錢信託ニ限り元本ニ損失ヲ来シタル場合又ハ予メ一定シタル額ノ利益ヲ得サリシ場合ニ於テ之ヲ補填シ又ハ補足スル契約ヲ為スコトヲ得</p>

該信託会社ノ口座カ弁済義務（同法第八十条第二項若八八十一条第二項）（此等ノ規定ヲ同法第百十三條、第百十五條、第百十七條、第百十八條、第百二十條、第百二十一條、第百二十三條、第百二十五條及第百二十七條ニ於テ準用スル場合並ニ同法附則第十條、第二十七條第一項、第二十八條第一項、第二十九條第一項、第三十條第一項、第三十一條第一項、第三十二條第一項、第三十四條第一項、第三十五條第一項及第三十六條第一項ニ於テ適用スル場合ヲ含ム）又八第百五條第二項、第百六條第二項、第百九條第三項若八第百十條第三項（此等ノ規定ヲ同法附則第十九條（同法第四十八條ニ於テ適用スル場合ヲ含ム）ニ於テ適用スル場合ヲ含ム）ノ義務ヲ謂フ以下本條ニ於テ同ジ）ヲ負フ同法第二條第五項ニ規定スル振替機關等又八當該振替機關等ノ下位機關（同法第二條第九項ニ規定スル下位機關ヲ謂フ）ニ依リ開設サレタルモノデアル場合ニ於テ當該振替機關等又八當該下位機關ノ弁済義務ノ不履行ニ因リ信託財産ニ生ジタル損失ヲ補填スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條ノ二 信託会社ハ信託法第十七條ノ規定ニ拘ラス信託財産ニ屬スル債權ニシテ清算機關（証券取引法第二條第二十七項ニ規定スル証券取引清算機關又ハ金融先物取引法第二條第十三項ニ規定スル金融先物清算機關ヲ謂フ以下本項ニ於テ同ジ）ヲ債務者トスルモノ（清算機關カ債務引受（証券取引法第百五十六條の三第一項第五号ニ規定スル有価証券債務引受業等又ハ金融先物取引法第三十七條第一項ニ規定スル金融先物債務引受業等トシテ行フ債務引受ニ限ル以下

（新設）

本項ニ於テ同ジ(ニ因リ債務者トナリタル場合ニ限ル)ニ付テ八他ノ信託財産ニ屬スル債務(清算機關ニ依ル債務引受ノ対価トシテ負擔シタルモノニ限ル)ト相殺ヲ為スコトヲ得但シ信託行為ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ相殺ヲ為ス信託会社ハ当該相殺ニ因リ信託財産ニ損害ヲ生ゼシメタルトキ八其ノ損害ヲ填補スル責ニ任ス